

リクルート進学総研

高校生の4人に3人が「選挙に行くと思う」 ～女子は“少子高齢化対策”“人材活躍強化”への 関心が高い～

— 高校生の政治への関心・社会観・結婚/家庭観「高校生価値意識調査2015」 —

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区 代表取締役社長 山口 文洋）が運営する、高等教育機関、高校生、進路選択に関する各種調査や社外に向けての情報発信を行う、リクルート進学総研（所長 小林 浩）は、高校生の社会観・キャリア観・進学観・ライフデザインに関する調査「高校生価値意識調査」を実施いたしました。この度調査結果がまとまりましたので、一部をご報告いたします。

高校生の政治への関心

- **選挙権を取得したら「選挙に行くと思う」は76%。**
「選挙に行くと思う」 男子 80.0% > 女子 72.0%（8.0ポイント差）
- **「国や地方の政治に関心がある」は64%。**
「関心がある」 男子 72.6% > 女子 55.8%（16.8ポイント差）
- **「子ども・子育て支援」「女性活躍推進」は男子より女子で20ポイント以上高く、女子の関心度が高い。**
「子ども・子育て支援」 男子 22.8% < 女子 43.7%（20.9ポイント差）
「女性活躍推進」 男子 9.6% < 女子 32.2%（22.6ポイント差）

高校生の社会観

- **自分の将来が「明るい」と考える高校生は70%で、「明るくない」と考える高校生30%の2倍以上となった。**
・自分自身の将来は明るい 2009年：74.6%→2012年：55.3%→2014年：63.7%→2015年：69.6%
・自分自身の将来が明るいと考え理由は、東京オリンピックやアベノミクス効果による景気回復への期待。一方明るくないと考える理由は、少子高齢化や就職難などへの不安。
- **一方、昨年からの景況感は「よくなった」と感じている高校生が22%と、「悪くなった」18%を上回った。**
・昨年と比べての景気 よくなった：21.9% > 悪くなった：17.8%

高校生の結婚/家庭観

- **結婚して子どもが生まれてからは、「家庭・家族」を1番大切にしたい高校生は73%で、「仕事」の17%の4倍以上となった。** ※『仕事』・『家庭・家族』・『プライベート』の優先順位
- **将来、結婚・出産しても働きたいと考える女子高生は66%。働きたい理由1位は「仕事にやりがいを感じられそうだから」（52%）。**
- **配偶者に働かせてほしいと考える男子高生は48%。働かせてほしい理由1位は「夫婦どちらかの収入だけでは生活することが難しそうだから」（48%）。**

※出版・印刷物へデータを転載する際には、“「高校生価値意識調査2015」リクルート進学総研調べ”と明記ください。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【リクルート進学総研 WEBサイト】 <http://souken.shingakunet.com/>